対象患者：乳癌

レジメン名：EC

1コースの日数：21日

催吐性リスク：高度

血管外漏出リスク

エピルビシン：壊死起因性抗がん薬

シクロホスファミド：炎症性抗がん薬

Rp.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準投与量	投与方法	投与ルート	投与時間	day						
						1	～	8	～	15	～	21
1	パロノセトロン ホスネツピタント デキサメタゾン	0.75mg 235mg 9.9mg	点滴静注	メインルート	1時間	○						
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○						
3	エピルビシン 生理食塩液	90mg/m ² 50mL	点滴静注	メインルート	5分	○						
4	シクロホスファミド 生理食塩液	600mg/m ² 100mL	点滴静注	メインルート	30分	○						
5	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○						

点滴順序：Rp1→2→3→4→5

投与時間：1時間30分

備考：

制吐剤として下記を内服する。

・オランザピン5mg/day 分1(day1-4) *糖尿病既往の患者は使用禁止

・デキサメタゾン8mg/day 分2(day2-4)

術前・術後：4コース

進行・再発：総投与量エピルビシン900mg/m²まで